

高浜公民館だより

〒672-8038 姫路市飾磨区阿成鹿古312
TEL/FAX 079(235)9456 毎週月曜日 休館

暑い日が続きこれから雨も心配ですが、虫たちの動きやカエルの鳴き声などこの時期ならではの楽しみもあります。新しい発見をさがしに出かけるのもいいですね。公民館では玄関前のおじさいが、ピンク色の花をきれいに咲かせて、みなさんが来るのをお待ちしております。今月は2年生のみなさんが「地域たんけん」の学習で全員公民館に来てくれますし、休日や放課後の公民館の開放や講座教室に来た時、きれいなおじさいを見て下さいね。



公民館の利用の仕方（安全）

公民館前の道路では東側（ローソン前）の大きな通りの信号に向かってものすごいスピードで走る車があります。また、運転手には駐車場から出て来る小学生の姿が見えにくいので、そんな道路へ、駐輪場から自転車に乗りそのままに道路へ出ていくのをよく見かけます。大切な命を守るため、公民館から自転車で帰る時は、道路まで押していき、左右を確認してから道路の左側を走りましょう。ヘルメットも正しくかぶって下さいね。



5月の講座から

フラワーアレンジメント（三世代）「ありがとう！」

テーマは母の日にちなんで「ありがとう！」大人たちと一緒に二人の小学生が「お母さんにプレゼントする♡」と大人たちと一緒にカーネーションをメインにすえアレンジしてくれました。花と向き合う時間もいいものですね。次回は12月です。



6・7月の講座・教室等のご案内

6/7おやつ教室は満席となりました。

☆ アイシングクッキー

— かわいい夏のイラストをアイシング! —

- ★日時： 6月28日（日）10：00～12：00
- ★講師： 関本 まみ 先生（JSA アイシングクッキー認定講師）
- ★参加費： 1500円 を添（そ）えて申込（もうしこみ）
- ★定員： 小学生1～3年生 8名 申込 5/28（木）～
- ★持ち物： エプロン マスク 三角巾（さんかくきん） スリッパ



事務室の受付に飾ってあるのは関本先生の作品で～す！

☆ ポーセラーツ教室 — マグカップを2つ —

- ★日時： 7月26日(日) 10:00~11:30/13:30~15:00
- ★講師： 喜多 千景 先生(陶芸家)
- ★材料費：2500円 ★申込 材料費を添えて来館
- ★定員：小学生 午前20名 午後20名(各回20名)
- ★持ち物：はさみ お手ふきタオル



このほかの7月の講座教室の予定(7月号でくわしく案内しますね。)

すず 涼しい公民館で友だちと!

日 時	講座教室名	対象	定員
19日(日) 10:00~	アクアリウム教室	保幼小中	30名
22日(水) 10:00~	竹とんぼづくり	小中学生	10名
23日(木) 10:00~	手品教室	小4~中学生	10名
23日(木) 16:30~	スポーツチャンバラ	三世代	10名
24日(金) 13:30~	世界の楽器を楽しもう!	小学生	30名
28日(火) 13:30~	木工クラフト教室	三世代	30名
29日・31日(水・金) 10:00~	手話指文字教室	小中学生	10名
30日(木) 13:30~	電気安全教室	小学生 (低学年は保護者同伴)	40名

指文字&生活手話&手話歌	6月 6・20日(土) 10:00~ 7月 4・18日(土) 10:00~	つづけてこなくてもいいんだよ。 来たい時に1回だけでも体験しに来て下さい。
将棋教室	6月 13・27日(土) 13:00~ 7月 11・25日(土) 13:00~	将棋をやってみたい子あつまれ! 子どもから大人までが一緒に楽しめる
なかよしランド	6月 10日(水) 7月 8日(水)	10:00~ おやこふれあい遊び・季節のわらべうた シアター「ぞうくんのさんぽ」(5月)「でんむしくん」(6月)
はいはいランド	6月 18日(木) 7月 16日(木)	10:00~ 親子ふれあいあそび・季節のわらべうた シアター「おはながわらった」(5月)「まあるいたまご」(6月)

《子育て支援》社協福祉協議会高浜支部

たかはまわかば	6月25日(木) 7月23日(木)	10:00~ 「おやこリズムたいそう」(5月) 「わかばの交通安全(こうつうあんぜん)」(6月)
---------	----------------------	---

*申し込み方法「来館・電話」は実施日の1か月前より受け付けます。開館時間9:00~17:00

高浜の「人カ帳場」
衣川信良さんの作品



昔 山陽電車が通るまで阿成永代橋詰
に人力帳場がありました。
又、馬車もありラッパお鳴らして走っ
ていました。
車夫は年寄りが多かったので走るの
が遅かった。
(笑い話である)
「旦那行きまほか」
「いや今日は急いでいるから
歩いていく」
大正末期